

現在、当院 小児外科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

小児鼠径ヘルニアにおける Goldstein test と腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術での対側有病率の違いに関する調査

2. 対象となる方

2007年6月～2012年5月末までの期間に当院 小児外科で鼠径ヘルニア根治術の治療を受けられた女児の患者さん

2012年6月～2017年5月末までの期間に当院 小児外科で腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を受けられた女児の患者さん

3. 研究の目的

従来法による鼠径ヘルニア手術の際に行っている気腹法による対側検査 (Goldstein test) の結果の評価と腹腔鏡検査で認める対側鼠径ヘルニアの発見頻度を調べることを目的としています。この調査により現在行われている治療法についての評価を行い、よりよい治療へとつながる可能性があります。

4. 研究期間

2017年12月15日～2021年12月31日(予定)

5. 研究に使用する情報の種類

診療情報等：電子カルテから術前後の診断名、年齢、既往歴、手術所見の記録、その後の経過等を調査します。また、従来法で手術された患者さんには電話でその後の経過を聞き取り調査させていただきます。

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院 小児外科 部長 向井 亘

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 小児外科 向井 亘